原著論文

白未熟粒割合が減少し収量に影響が見られないイネの染色体断片置換系統の選抜

福田寛史 [1)]・福田あかり [1)]・野々上慈徳 [1)]・Di Guan[1)]・菅野徳子 [1)]・谷口昇志 [1,2)]・今瀬諒司 [1)]・松下　景 [1)]・北﨑颯汰 [3)]・小牧有三 [4)]・竹牟禮穣 [4)]・坂本利弘 [5)]・福岡修一 [1)]・米丸淳一 [1,2)]・小川大輔 [1)]
([1)] 農研機構作物研究部門，[2)] 農研機構基盤技術研究本部農業情報研究センター，[3)] 富山県農林水産総合技術センター，[4)] 鹿児島県農業開発総合センター，[5)] 農研機構農業環境研究部門)

Breeding Science 75: 79–84 (2025)

◇◇◇

キャッサバモザイク病（CMD）抵抗性系統の選抜 DNA マーカーの開発

徳永浩樹 [1,2]・Pham Thi Nhan[3]・Pham Thi Huong[4]・Nguyen Hai Anh[4]・Le Thi Mai Huong[4]・Truong Minh Hoa[3]・Nguyen Thi Huyen Trang[3]・Nguyen Ba Tung[3]・Cu Thi Le Thuy[5]・Xiaofei Zhang[6,7]・関　原明 [2,4,8,9]・Le Huy Ham[4]
([1] 国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究センター，[2] 理化学研究所環境資源科学研究センター植物ゲノム発現研究チーム，[3] フンロック農業研究センター，[4] ベトナム農業遺伝学研究所キャッサバ分子育種国際共同研究ラボ，[5] 国際熱帯農業センターキャッサバプログラム（ベトナム・ハノイ），[6] カリフォルニア大学デービス校植物科学学科，[7] 国際熱帯農業センターキャッサバプログラム（コロンビア・カリ），[8] 理化学研究所環境資源科学研究センター植物エピゲノム制御研究室，[9] 横浜市立大学木原生物学研究所）

Breeding Science 75: 111–118 (2025)

◇◇◇